いいだ 市議会だより

No.176
平成 23.4.26

編集/市議会だより編集委員会　発行/飯田市議会　〒395-8501 長野県飯田市大久保町〔TEL〕0265-22-4511

VEGETABLE OIL INK　R100 古紙配合率100%紙

第1回定例会

23年度一般会計当初予算案を可決
東日本大震災支援のための補正予算案を可決

東日本大震災及び長野県北部地震で被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

命の水を届ける
（飯田市水道局による給水支援活動：宮城県塩竈市）

定例会のあらまし

平成23年飯田市議会第１回定例会は、３月１日から３月24日までの24日間の日程で行われました。

今定例会では、市側から専決処分の承認等報告案件１件、人事案件９件、条例案件９件、一般案件18件、予算案件23件の計60件の議案が上程され、原案のとおり同意・可決しました。

一般質問では20人の議員が質問に立ち、リニア中央新幹線、教育、環境など各分野の課題について市の考えを質しました。また最終日に東日本大震災支援のための補正予算案が上程され可決しました。

□目次

議案・請願・陳情の審議結果……P2
特別委員会……P3
一般質問の概要……P4・5
常任委員会の審査状況 ……P6～9
政務調査報告 ……P10
自治基本条例の検証 ……P11
傍聴席・議員コーナー……P12

平成２３年度一般会計予算は４２４億３千万円（前年比2.9％増）
東日本大震災支援関係３千万円余（２２年度一般会計補正）

平成２３年度一般会計予算案の主な内容

議会費　議員人件費ほか、議会一般経費など 3億2,910万円
総務費　防災行政無線戸別受信設備整備 5,200万円、リニア飯田駅整備推進基金積立金 3億円など
民生費　子ども手当給付事業　23億8,000万円、民間保育所施設整備 5億1,800万円など
衛生費　乳幼児予防接種事業 1億8,000万円、子宮頸がん予防接種事業 7,400万円など
労働費　雇用対策事業 1億4,400万円、人材誘導事業 420万円など
農林水産業費　農作物被害対策事業 2,900万円、林道改良事業費（補助、単独）1億6,200万円など
商工費　融資事業費 16億2,000万円、上村観光施設管理費 2,600万円など
土木費　道路改良事業費（補助、単独）12億5,400万円、地域振興住宅整備事業 9,600万円など
消防費　消防施設整備事業 6,300万円、住宅倒壊防止対策事業 1,650万円など
教育費　天竜峡テニスコート整備 1億1,500万円、図書館分館等蔵書データ化業務 2,123万円など

可決した主な条例等の内容

○議案第12号　飯田市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例及び飯田市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正条例
【平成24年度まで市長等特別職の給与を 5%、議員報酬を 3% 減額するもの】

○議案第15号　飯田市国民健康保険条例の一部改正条例
【出産育児一時金を42万円（改定前38万円）に改定するもの】

○議案第18号　飯田市特別用途地区建築条例の一部改正条例
【松尾明地区の工業専用地区から工業地区への変更に伴い一定の物品販売店、飲食店の出店を可能とするもの】

○議案第19号　飯田市特定用途制限地域建築条例の一部改正条例
【松尾地区緑中周辺に子育て住環境保全地域を設定し、一定の建築物の建築を制限するもの】

○議案第20号　飯田市美術博物館条例の一部改正条例
【プラネタリウムの更新に伴い観覧料を増額改定するもの】

災害支援関係　補正予算

○議案第62号　平成22年度飯田市一般会計補正予算（第9号）案
東北地方太平洋沖地震災害支援のための経費　3,231万円
【災害派遣経費（給水応援）　南相馬市避難者支援費用
東北３県等への見舞金　等】

南相馬市の
被災者受入れの様子
（風越山麓研修センター）

請願陳情審査結果（受付順）

陳情内容	陳情者	結果
市に対し、県民飯田運動広場のテニスコート（押洞コート）を全天候型砂入り人工芝コートへ改良すると共に、夜間照明の設置を提案願いたい	飯田ソフトテニス協会 会長　関島栄一氏 ほか1名	趣旨採択
国に対し、機能性低血糖症に係る取り組みを求める意見書を提出願いたい	食と心身の健康を考える会 飯田支部代表　木下雅文氏	採　択
市に対し、飯田市国民健康保険運営協議会に被保険者代表について公募制度の導入を提案願いたい	飯伊地区社会保障推進協議会 会長　唐沢啓六氏	不採択

同意した人事（敬称略）

○監査委員　中島善吉
○人権擁護委員
　茂木立好則　下平澄瑞
　北沢孝臣
○各地区財産区管理委員

可決した意見書

機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書

庁舎建設特別委員会（1月24日、2月24日、3月17日開催）

■委員会の内容・質疑

1月24日委員会

◆「庁舎整備基本設計案の考え方」についての市側の説明

○新庁舎

行政機能を担う「執務棟」と、議会機能や防災機能を担う「議会防災棟」に分割し、議会防災棟を執務棟南側に配置する。

また、現庁舎の敷地と西側駐車場の間の市道を付け替え、大久保町から箕瀬町までを一体的な敷地として利用する。

新庁舎執務棟については、1階は市民の利用が多い各種証明書の交付や福祉関係の手続きなど窓口サービス関連部署を配置する。

○議会防災棟

議会としての機能のほか防災オペレーション室や情報通信システム関連の設備を配置し、大規模災害発生時には議場や執務棟に設置した委員会室を一体的に活用し、災害対策本部としての機能が発揮できるようにする。

◆庁舎基本設計案の方針について

Q 駐車場の台数はどの程度確保されるか。

A 庁舎周辺に300台程度を考えている。公用車、マイクロバスの駐車スペースを考慮し、市民用に250台以上を確保したい。

Q 出入り口が国道256号沿いにない。ケヤキの所が昔入口になっており設置を考えたらどうか。

A 検討した経緯はあるが、国道自体の改築が必要であること、警察から車の出入りについて危険があるとの指摘があるため考えていない。

3月17日委員会

市側より、庁舎整備基本設計の方針案についてのパブリックコメントに関し「市民から提出された意見及び市の考え方」についての説明があり、協議の結果、庁舎整備の基本設計案とともに委員会として了承することとしました。

現市役所庁舎（水道環境部棟）

リニア推進対策特別委員会（2月24日、3月17日開催）

■委員会の内容・質疑

2月24日委員会

「リニア中央新幹線の取り組みについて」「今後の予定について」の協議

国の交通政策審中央新幹線小委員会の中間報告に対する広域連合及びリニア建設促進長野県協議会のパブリックコメントの内容が説明されました。

広域連合によるパブリックコメントでは、「途中駅設置費の合理的な負担のあり方、及び、駅設置場所について国家プロジェクトとして国の積極的な関与を求めた」こと、また、長野県協議会のパブリックコメントにおいては、「国家的プロジェクトとして、最終的に国の判断は尊重する」などが明記されたとの説明がありました。

○第15回小委員会の報告

「東京―山梨間の20㎞幅のルート上の環境調査の結果」、「パブリックコメントの集約結果」などが審議され、いずれにおいても現在までのとりまとめ内容を覆す要素がないことが確認されたとの説明がありました。

3月17日委員会

「リニア中央新幹線の取り組みについて」「今後の予定について」の協議

○第16回小委員会の報告

「中央新幹線の整備効果拡大のための駅及び周辺の整備について」と「コスト低減等への取り組みについて」委員会の中間とりまとめの付帯意見とした内容が協議されました。

整備効果拡大のための駅及び周辺の整備については、国内外の事例を参考に意見交換が行われ、「高度なトランジットハブは高速バスとの連携を意識しており、マイカーやバスとの上手な結節が重要になる」などの意見が出されたとの報告がありました。

「リニア中央新幹線が走る夢のまち」
絵画コンクール入賞作品（平成22年度）
伊賀良小学校3年生　木下龍哉さん

一般質問

Q質問　A答弁　■他の質問項目

今回の定例会では20名の議員が市政全般について一般質問を行いました。それぞれの議員の質問の要点と答弁の内容を紹介します。

会派のぞみ

☆**新井信一郎**【40分】 **Q人材育成の観点から、リニア中央新幹線を題材とした飯田市らしい、小中学校の授業展開を考えてはいかがか**　**A**　社会見学や修学旅行でリニア実験線の試乗体験や施設見学について学校現場との調整を行う中で検討していく。　**■地域資源の活用について**

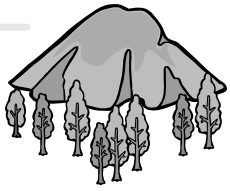
☆**湯澤啓次**【40分】 **Q「21世紀型の中心市街地総合再生」を後期5ヵ年計画に向け、いかに進めるべきか**
A　内閣府の認定を受けた中心市街地活性化基本計画は平成24年度までの5ヵ年計画であり、その後については国の方針が決まっていない。リニア中央新幹線の動きが具体化している状況を踏まえて計画の見直しをかけながら、今後リニア時代を踏まえた中心市街地の検討を進めたい。

☆**吉川秋利**【40分】 **Q小中連携の一貫教育の目指すところは何か**　**A**　平成17年度から検討に取り組んできた小中連携教育であるが、各種教育課題の総合的な解決を考えたとき、義務教育9年間について継続性のある指導を行う必要があると認識しており、一貫教育を導入することによって人材育成に努め、生きる力を育んでまいりたい。　**■教育委員会のあり方について■キャリア教育について**

☆**湊　　猛**【40分】 **Q新庁舎建設にあたり地域産材の使用は**
A　関係法令上、庁舎全体を木造とすることは困難であり、また内装制限もあることから木材使用は限られた用途・場所への使用のみとなるが、地元木材を利用することは、CO2削減、森林資源、また地域産材の活用の普及に対して大きく貢献できると考えており、できる限りの使用を検討したい。
■林業活性化計画について■公共事業入札制度の見直しについて

☆**木下克志**【40分】 **Q市として外国資本による森林・宅地・農地買収の実態をどのように考えているか**
A　現在のところ外国資本による買収実態はないと認識しているが、提案いただいた課題については十分に認識をした上で、国における今後の動向や、土地取引、開発行為の状況について、注視してまいる。
■ナラ枯れについて■教育について

☆**清水　勇**【40分】 **Q天龍峡大橋と天龍峡再生事業をどう考えているか**
A　天龍峡大橋歩道ならびに天龍峡ＩＣ周辺地域に関連しては歩道新設をはじめ、各種の整備を順次行っていく。天龍峡ＩＣ近辺の国の土地については地域のみなさんに花の里として運営していただいてきたが、今後の活用については地域の思いも汲み、周辺施設の活用など複合的に検討していく。　**■平成23年度予算編成について**



会派みらい

☆**井坪　隆**【50分】 **Qリニア中央新幹線に対応する為の県の出先機関を飯田市役所内に設置すべきではないか**　**A**　県の出先機関が設置されれば、地域の実情を踏まえた協議を密接に行うことができる。国家プロジェクトとしての大事業がどのような体制で進められるか不透明な点もあるが、出先機関については、その体制によるものと考えており、今後、協議をしていく。
■「地域経済活性化プログラム2011」について■「安心して健やかに暮らせるまちづくり」について

☆**福沢　清**【50分】 **Q新地方公会計制度による飯田市の財務諸表の情報公開はどうか**
A　市では平成21年度から公会計改革による財務諸表を作成している。各表の解説や指標を掲載した小冊子を作成し、12月に議会、マスコミに公表するとともにホームページ上で公開している。
■住民基本台帳カードについて■自治体クラウドについて■低炭素社会基本条例について

☆**原　和世**【60分】 **Q野積みを規制する環境保全条例について、延期になってしまった条例改正ではあるが、どのように検討を進めてきたか**　**A**　政策面については庁議決定後、議会報告、パブリックコメント、環境審議会などで意見をいただいた。同時に法的な検討に入ったが、特に罰則規定を設けることから慎重を期し6月議会に上程することとした。早期制定を待ち望んでいた市民には申し訳ないが、この条例には実効性を伴う実質的な決定を要する項目が多く、より広い見地からの議論が必要であった。
■平成23年度市政経営の方向について

☆**森本美保子**【40分】 **Q4月から英語が小学校5、6年生の必修授業になるが飯田市の取り組み状況は**
A　平成23年度の必修授業化に伴い、21・22年度を移行期間としてそれぞれ目標を設定し活動を行ってきた。またELTや英語指導員の学校配置について、検討を重ねた。児童が外国語に興味を持ち、スムーズな移行が可能と考える。　**■高齢者福祉について**

日本共産党

☆**内田雄一**【40分】 **Q学校給食を通じた食育の強化をどのように進めるか**

A 各学校で食に関する指導計画を策定し、給食・授業・行事を通じ食育に取り組んでいる。指導的な役割を果たす学校給食栄養職員について、現在は調理場（矢高、竜峡）に2名配属されているが、今後県に対して栄養教諭の増員配置を希望してまいりたい。 **■全国一斉学力調査について**

☆**伊壷敏子**【40分】 **Q平成23年度は、国の別枠加算により地方財政対策が拡充され増額したということであるが、その内容はどのようなものか。また、次年度以降をどのように考えるか**

A 平成23年度地方財政対策では、地方交付税額の決定過程において、1兆2千億円余の別枠加算が行われ、前年度比2.8％増の額が確保された。25年度までの中期財政フレームでは22年度の水準を確保するとされるが26年度以降の地方財政対策は現時点では不透明である。 **■地域主権改革の課題について**

☆**後藤荘一**【40分】 **Q国民健康保険について、平成22年度の決算見込みはどうか**

A 22年度の国保税率の算定において、基金の全額を取り崩し、一般会計から臨時的に基準外繰り入れを行うことで税率アップを制御してきたところであるが、決算見込みは大変厳しい状況。

公 明 党

☆**村松まり子**【40分】 **Q支え合う地域社会づくりについて、地域での支え合いを促進する為に、介護に対するボランティアポイント制度を取り入れてはどうか**

A 自治体によっては介護支援ボランティア活動を行った場合にポイントを付与する事業を行っているところもあり、今後参考としながら、色々な方法を研究していきたい。 **■地域を支える公共交通について**

☆**林　幸次**【40分】 **Q財政改革の成果を財源として、住民サービスを向上させる政策・事業のため市民に還元すべきではないか** **A** 行財政改革は常に最小経費で最大効果を上げるべく改革改善を継続していく取組みであり、これによって生み出された財源は、新たな行政需要に対する施策の財源としていく。

■平成23年度の市政経営方針について

☆**永井一英**【40分】 **Q昨今の社会状況を見るにつけ将来の飯田市を考えた時、小中学生の心の中に「社会に貢献したい」という気持ちを育てることが大切と考えるがどうか**

A 「社会への貢献意識を育む」ことは、小中学生の教育において大変重要な視点であり、ふるさとのよさに気づき自ら関わる力となると考える。

■小・中学生の体験活動について■地域と小・中学校との関わり方について

市民パワー

☆**下平勝熙**【40分】 **Qバイオ活用で新エネルギー化の検討は考えられないか**

A 国は廃棄物からエネルギーを有効に引き出すためバイオマスエネルギー活用を進めており市でもバイオマス活用を推進するためのバイオマスタウン構想を策定している。 **■平成23年度市政運営と予算方針について**

☆**木下容子**【30分】 **Q「平和市長会議」や「日本非核宣言自治体会議」に加盟する意志はないか** **A** 「日本非核宣言自治体会議」については、現段階であまり参画の広がりが見られないため加盟していないが、「平和市長会議」については、趣旨に鑑みつい最近加入したところである。 **■第５次基本構想基本計画の中での平和・人権施策について■子どもの目線を大切にした平和・人権教育について**

☆**清水可晴**【50分】 **Q住宅リフォーム助成について飯下建設産業労働組合が要望しているが検討状況はどうか** **A** 基本的にどのような形で制度設計するか検討している段階である。結論は出ていないが、前向きに検討していく。 **■B-１グランプリの取り組みと協働のまちづくりについて■地育力の向上と効果的な事業推進について■産業の育成と雇用・労働者保護について**

無 会 派

☆**牛山満智子**【40分】

Q飯田市の企業グループのＬＥＤ防犯灯は品質・価格で競争力があるか

A 取扱商社や電気機器卸業者からの情報を総合すると、価格・品質面ともに国内競争力はあると考えている。

■地元企業が海外や地域外へ生産拠点を移す動きについて

委員会開催日　3月14日〔審査件数　分割付託　2件、一括付託　16件、陳情　1件〕

主な審査案件

○議案第38号　平成22年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案【地域雇用創出推進基金積立金5,000万円等】
○議案第46号　平成23年度飯田市一般会計予算案
【防災行政無線戸別受信設備整備（上村・南信濃）5,200万円余　リニア飯田駅整備推進基金積立金3億円等】
○議案第12号　飯田市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例及び飯田市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正条例の制定について
○議案第13号　飯田市特別会計条例の一部改正条例の制定について
○議案第20号　飯田市美術博物館条例の一部改正条例の制定について
○議案第25号～第27号　財産の無償譲渡について
○議案第28号、第29号　工事請負契約の一部変更について（飯田西中屋内運動場改築工事、鼎中武道場改築工事）
○議案第30号～第37号　公の施設の指定管理者の指定について（法山地域振興センターほか）
○議案第43号　平成22年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第1号）案
○議案第51号　平成23年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案）
○議案第57号　平成23年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算（案）

審査の概要

■飯田市美術博物館条例の一部改正条例の制定についての質疑

Q　プラネタリウム観覧料の改定による年間収入額は。

A　トータルで330万円余を予定しており、200万円余の増額となる見込み。また、デジタル式に改修し、大人向け番組の制作、投影も行うため、高校生、大人の観覧料のみ引き上げたい。

■工事請負契約の一部変更についての質疑（飯田西中屋内運動場改築工事）

Q　今回の変更は、工事の騒音対策、交通誘導等に関するものとの説明があったが、近隣の県営住宅住民の意見を反映したものか。

A　道路を挟んで県営住宅があるため、要望に基づき騒音やほこりを出さない対策を行い休日は工事を中止した。そのため工事の完成は6月末になる見込み。

■公の施設の指定管理者の指定についての質疑

Q　協定書に記載されている内容に、条例、規則の条項との整合性がとれていない等の指摘が監査報告にある。協定内容が精査され公平性は保たれているか。

A　事業報告書の確認などに不十分なところがあった。庁内においては、担当課との連携を密にしていく。

■平成23年度一般会計予算案に対する質疑

◆行政評価　議会提言
文化芸術の振興と当該施策に係る事務事業　藤本四八写真文化賞事業において、今後も実施すべき事業かどうかの検討を早急に実施されたい

Q　新年度予算を編成するに当たり、提言を受けてどのように検討したか。

A　この事業は、23年、24年度と2年にわたる。23年度は作品募集要項の作成等、これまでと同様に事業を行うための準備費用を計上した。事業内容については23年度の早い時期に検討したい。

◆上村及び南信濃地区の自治振興センター費について

Q　合併特例期間が終了するが、新年度予算では何を重点に考えたか。

A　センター機能はスリム化されるが、住民の生活基盤の安定と地域振興の両面から支援策を講じていくことが必要であり、まちづくり委員会が主体となって行う定住促進補助金制度の創設や、遠山郷観光の振興策が新たに盛られたところである。

◆消防費について

Q　消防力確保のため、地域の多様な主体と協働して、消防団員の確保に向けて検討するとの説明があったが、団員確保の予算化はされたか。

A　当初予算においては、更に安全装備が充実するよう経常経費で対応した。

◆中学校費について

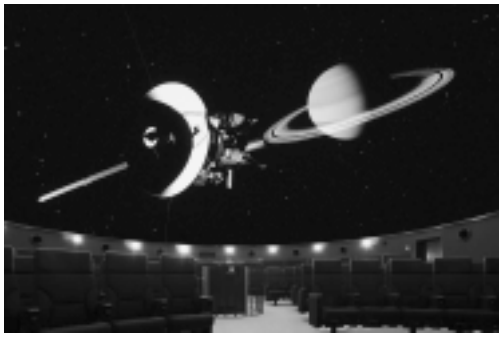
Q　国の40人学級に対し、県は平成23年度から、中学校1年生に30人規模学級を実施するとしたが、飯田市の対応はどうか。

A　飯田市は30人規模学級を選択することとし、緑ヶ丘、旭ヶ丘、高陵中学校の3校が該当する。

◆社会教育費について

Q　春草没後百年に併せて、橋北地区の春草ゆかりのものを一緒に整備する考えは。

A　橋北地区から生誕地の顕彰をしたいとの要望もあり、文化的遺産と合わせて、まちなか観光と連動させる方法を模索している。



リニューアルされたプラネタリウム
（飯田市美術博物館）

委員会開催日　3月15日〔審査件数　分割付託　2件、一括付託　12件、陳情　2件〕

主な審査案件

○議案第38号　平成22年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案
【後期高齢者医療広域連合負担金4,600万円余等】
○議案第46号　平成23年度飯田市一般会計予算案
【民間保育所施設整備事業5億1,800万円余、乳幼児予防接種事業1億8,000万円余等】
○議案第14号　飯田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正条例の制定について
○議案第15号　飯田市国民健康保険条例の一部改正条例の制定について
○議案第39号～44号　平成22年度各特別会計補正予算案
（国民健康保険特別会計、老人保険特別会計、介護保険特別会計、病院事業会計）
○平成23年度各特別会計予算案
（国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、
介護老人保健施設事業特別会計、上村デイサービスセンター特別会計、病院事業会計）

審査の概要

■平成23年度介護保険特別会計補正予算案に対する質疑

Q　居宅介護住宅改修制度では、利用者が一時的に全額を支払うこととなっており、利用しにくいとの声もあるが。

A　利用者からの申請を確認し、おおむね2カ月後に公費負担分の返金を行っている。利用者の方に全体の金額を承知していただくことも必要であると考えている。

■平成23年度飯田市病院事業会計予算案に対する質疑

Q　第3次施設整備計画が実施されていくが病院経営の負担とならないか。

A　高齢化の進展もあり、患者数は平成35年まで伸びていくと推計している。地域の中核病院として、それらを勘案し対応できる医療を考慮した施設整備を行う。多額の投資であるが、健全経営と良質な医療提供の双方を念頭に置き進めていく。

■平成22年度一般会計補正予算（第8号）案に対する質疑

◆民生費について

Q　民間保育所運営費負担金の増額理由と公立保育所の人件費減額は、民間への経営移管と関連があるのか。

A　民間保育所運営費負担金の増額については、年度内の変動による精算を見込み、補正するもので、未満児保育の受け入れが増えたこと等が主な要因である。

■平成23年度一般会計予算案に対する質疑

◆行政評価　議会提言
共に支えあう地域福祉の推進において、課題が地域で解決できる方法を検討されたい

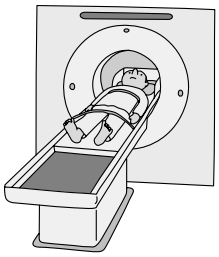
Q　多様な主体の役割を明確にして、福祉課題に地域で取り組める体制づくりとは、どのような体制を想定しているか。

A　少子・高齢化の進む中で地域の福祉力が試される課題であると認識している。地域には自らボランティアを行うなど地域貢献をしたいとの志を持った方も増えてきている。こうした動きを育てていくなど多様な形で取り組んでいく考えである。

◆民生費について

Q　予算全体の中で補助費と扶助費が前年度に比べ増額となっている要因はなにか。

A　補助費については、子ども手当の支給対象期間と3歳児未満への支給額改定、予防接種、水道事業補助金の増額などが影響している。
扶助費については、障害者支援、生活保護措置費の算定において積上げ方法を変更し、実態に則した年間必要額を当初予算に計上した結果である。



◆衛生費について

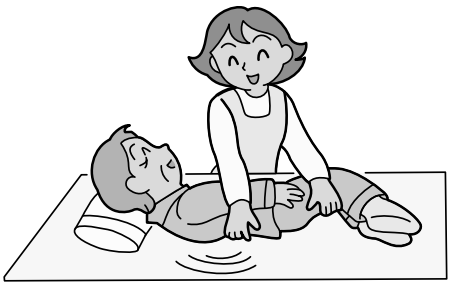
Q　子宮頸がん予防接種について、ワクチンが不足しているとの情報もあるが接種に影響があるか。

A　本年度接種対象者を1700人と見込み、1月までに252人、2月までに2回目の接種者を含め702人が接種を行った。学校の春休みを利用しての接種を考えていた方が多かったと推測される。国からは、急速な需要の増大に伴い、供給不足となっていると聞いている。

◆介護者支援のための相談事業について

Q　補助員はどのような資格を持った方でどこに配置をされるか。

A　専門的な知識も必要であり保健師の資格を有する方を、ほりばた長寿支援センターへ配置する。また、対象のお宅への訪問相談も行っていく。



委員会開催日　3月18日〔審査件数　分割付託　2件、一括付託　8件〕

主な審査案件

○議案第38号　平成22年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案
【みんなで支える里山整備事業費380万円余等】
○議案第46号　平成23年度飯田市一般会計予算案
【雇用対策事業費1億4,400万円余、中小企業金融対策事業費16億2,000万円余等】
○議案第16号　飯田市企業人材確保住宅条例の一部改正条例の制定について
○議案第21号　損害賠償の額を定めることについて
○議案第33号～第35号　公の施設の指定管理者の指定について（上村若者センターほか）
○議案第45号　平成22年度飯田市各財産区会計補正予算（第1号）案
○議案第50号　平成23年度地方卸売市場事業特別会計予算（案）
○議案第60号　平成23年度飯田市各財産区会計予算（案）

審査の概要

■公の施設の指定管理者の指定についての質疑

◆上村しらびそ高原施設について

Q　施設の運営について、地域の皆さんとどのような話し合いをしてきているか。

A　施設は、指定管理者の会社経営に大きなウエイトを占めている。地域の自立にとって、新たに、経営を担う会社を立ち上げることは重要であるとの認識のもとに、まちづくり委員会は、集落ごとに話し合いをしてきた。まちづくり委員会においても、新会社に出資して応援していくことが検討されている。

■平成23年度一般会計予算案に対する質疑

◆行政評価　議会提言
天龍峡温泉交流館管理事業では、早急に施設のあり方を検討し方向性を明らかにする必要がある

Q　23年度予算にあたって、施設のあり方をどのように考えているか。

A　立ち寄り温泉施設として利用客が増えてきている。施設の役割を含め、今後の方向性を明らかにしていきたい。

◆農作物被害対策事業費について

Q　鳥獣被害については、地区を越えた共通の課題であり、現場に相応したソフト的な取り組みはないか。

A　地区単位のみの対応では困難である。学習会等で課題が見えてきたので、有効な手立てを対策協議会等で検討したい。広域的な取り組みについては、上伊那でチームを組んで対応している実践例があることから、参考にしたい。

◆農業費について

Q　農林業センサスについての新聞報道によると、担い手の減少と耕作放棄地の拡大が顕著であるようだが、こうした状況を受け、予算へどのように反映させたか。

A　新規就農者への支援などに力を入れている。竜東地区においては、空き家等の活用を図るとともに、竜西地区においては、空いている教員住宅を農業研修生が利用できるよう支援している。また、23年度は、教員住宅を改修し、農業研修生住宅の整備を予定している。

◆金融対策費について

Q　地域政策金融について、どのような効果が表れてきているか。

A　地域政策のための金融の役割を模索し、環境は整いつつある。業種に合った目利き人材を育て、起業の支援を進めるとともに、企業の経営体質改善を図っていきたい。

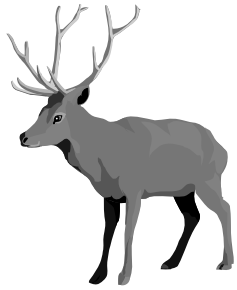
産業経済委員会視察

産業経済委員会では、平成22年度に行った議会報告会で市民から出された意見を基に課題の検証を行い、関係する案件について調査研究を行っています。

2月中旬には愛知県豊根村の有害鳥獣対策について視察を行いました。

同村では「わな特区」を導入し、わな免許猟師と鉄砲免許猟師及び農家が、無理のない範囲で役割を分担するなど、地域内で連携が取れていることが特長です。

飯田市においても有害鳥獣対策が課題となっており、引き続き対応策について調査研究を行っていきます。



委員会開催日　3月22日〔審査件数　分割付託　2件、一括付託　12件〕

主な審査案件

○議案第38号　平成22年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案
【再生可能エネルギー推進事業交付金2,000万円等】
○議案第46号　平成23年度飯田市一般会計予算案
【橋梁耐震整備事業2,650万円　不法投棄対策事業453万円余、
リサイクル収集推進事業　2,630万円等】
○議案第17号　飯田市中山間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部改正条例の制定について
○議案第18号　飯田市特別用途地区建築条例の一部改正条例の制定について
○議案第19号　飯田市特定用途制限地域建築条例の一部改正条例の制定について
○議案第22号～第23号　市道路線の廃止、認定、変更について
○議案第42号　平成22年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）案
○平成23年度の各特別会計予算案
（墓地事業特別会計、簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計）
○議案第61号　財産の取得について（内水排除対策用排水ポンプ設備）

審査の概要

■平成23年度墓地事業特別会計予算案に対する質疑

Q 基金の額はいくらか。
A **現在、5478万円余である。**
Q 4か所ある霊園の利用状況は。
A **全体で2189区画あり、未利用区画としては西部霊園などに48区画ある。**

■一般会計補正予算（第8号）案に対する質疑

◆斎苑管理費について
Q 市外火葬場利用補助金とは何か。
A **市外の火葬場を利用することとなった市民に対し、市内の火葬場利用料との差額4万円程度を補助するものであり、年間150件程ある。**

■平成23年度一般会計予算案に対する質疑

◆旧最終処分場管理費について
Q 施設改修工事費が500万円とあるが内容は何か。
A **浸出水を処理するためのポンプの改修などである。**

◆エコライフ啓発普及事業費について
Q エコライフコーディネーターの人数や役割は何か。
A **エコハウスに常駐する説明員と、低炭素社会に向けたライフスタイルを提案していくコーディネーターを、6名程度考えている。**

◆環境にやさしい交通社会形成事業費について
Q 貸自転車の利用が拡大しているとの説明があったが、自転車の自己購入など、今後の展望はどうか。
A **現在設置されている自転車の稼働率を高めていく。購入補助金などは考えていない。**

◆行政評価　議会の提言
・「交通機関と道路の充実」において救急救命の視点も考慮すべき
Q 緊急性について施策に明確にうたわれていないが基本構想の後期計画において視野に入れているか。
A **緊急車両通行の視点も含め今後計画に反映させていく。**

・「廃プラスチック等リサイクル事業」において新施設等での助燃剤としての利用も検討すべき
Q 2年間の研究成果についてどう見ているか。
A **再資源化の方法は確立されており、処分場の延命効果もある。しかし、混入をさけるべき品目の除去費用がかかる。新焼却場のありかたもあるため、広域連合の検討に参加していく。**

・「廃棄物の減量と適正処理」について、市民への意識づけ、協力体制の構築を進められたい
Q 不法投棄対策を考える会の現状と市のかかわりはどうか。
A **考える会は2月に設立され、土地所有団体や市民、ボランティア、関係団体など30名ほどで構成される。各団体等の取組みをつなぎ、どのように対策にまで積み上げていくかが当面の課題であり23年度中には方向付けをしていく。**

トピックス

～市役所で電気自動車を導入～

低炭素な移動手段への転換の取り組みの一つとして、昨年飯田市では電気自動車を２台導入しました。

そのうち１台は公用車としての利用及び環境関連イベントにおける普及啓発のための活用に、もう１台は、南信州31事業所で構成する地域ぐるみ環境ISO研究会加入事業所に貸し出し、従業員の皆さんに通勤等にご利用いただいています。

各会派政務調査報告（平成２２年度後期分）

政務調査とは

市議会各会派等では、政務調査費を活用して調査研究活動を行い今後の政策の立案、提言に活かし、ひいては市民益につなげていくことを目的に政務調査を実施しています。

各会派による政務調査の概要（平成２２年１０月から平成２３年3月までの実施分です）
詳細は市公式サイトに掲載しています。（http://www.city.iida.lg.jp/）

会派のぞみ　上澤義一（代表）　湯澤啓次　湊 猛　清水 勇　吉川秋利　新井信一郎　木下克志　中島武津雄

■平成２２年１０月及び平成２３年2月

・最先端と言われる環境モデル都市行動計画を学ぶ（北九州市）
・小1プロブレム対策としての学級補助員の導入（古賀市）
・バリアフリーではなくバリア「有り」の福祉施設（防府市）
・議会改革について（福島町）　新幹線ＪＲ新青森駅について　ほか

会派みらい　原 勉（代表）　福沢 清　森本美保子　井坪 隆　原 和世

■平成２３年1月

・リニア飯田駅設置と当地域の「リニア将来ビジョン」実現のために、飯田下伊那が一体となって取り組むことが重要であることから、下伊那郡内の団体等との交流事業の第１回として大鹿村を訪問。村民有志及び村長、議員の各々と意見交換を実施。（大鹿村）

日本共産党　伊藤敏子（代表）　内田雄一　後藤荘一

■平成２３年2月

・産業活性化緊急支援事業としての住宅リフォーム助成事業の取組みについて学ぶ（明石市・東播建設労働組合）

公明党　林 幸次（代表）　永井一英　村松まり子

■平成２２年１０月及び平成２３年2月

・市民の利便性向上に向けた取組みを学ぶ（横須賀市）
・「フォーラムまきのはら」の市民・行政の協働によるまちづくりの取組みから飯田市のまちづくりのありかたを考える（牧之原市）
ほか

市民パワー　木下容子（代表）　下平勝熙　清水可晴

■平成２３年2月

・新幹線駅の現駅併設型と郊外型駅の相違の調査と「総合交通計画」・「中心市街地活性化」によるまちづくりを学ぶ（盛岡市）
・市民との協働による安全安心なまちづくり「セーフコミュニティ」について学ぶ（十和田市）

無会派　牛山満智子

■平成２２年１０月

男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探る（日本女性会議２０１０きょうと）

飯田市自治基本条例（市議会の役割）の検証を行っています

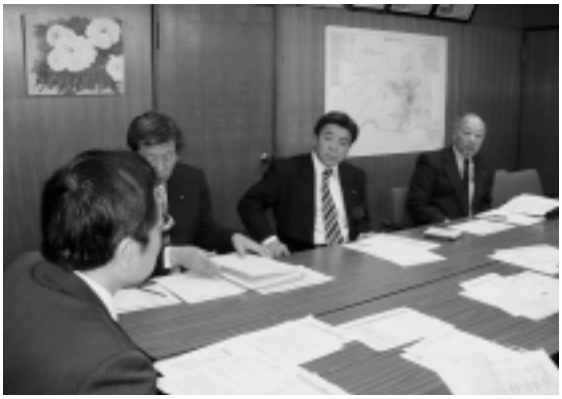
市民のみなさんとともに作り上げた「飯田市自治基本条例」が制定されて４年が経過しました。飯田市議会では、市民の声を反映した議会活動、市民に見える議会をめざし、平成２３年１月より「自治基本条例検証会議」を立ち上げ、同条例における市議会の役割（第２２条～第２７条）についての検証を行っています。

■検証会議の経過

第１回　1月２７日　　全体会及びグループ検討会（先進事例学習　検討の進め方等）
第２回　2月１０日　　グループ検討会（現状把握、課題等の掘り起し）
第３回　2月２２日　　グループ検討会（課題等の確認　改革の方向）
第４回　4月１２日　　全体会（グループ検討報告会：中間とりまとめ）

■今後の取り組み

・「中間とりまとめ」を基に、今後の議会運営についてのビジョンづくりにつなげるべく、見直しの方向性を明確にし、具体的な取り組みに着手していきます。


グループ検証会議の様子

全体会議の様子

■自治基本条例検証における主な検討の視点

以下について、「市議会としてできているか否か」、「改革の方向性」について検討しています。

・市民の意思の的確な反映と議決権限の行使
・市（執行機関）の活動の監視、評価
・政策の立案や提言のための調査研究
・市民全体の利益を優先した政策提言
・市議会の保有する情報の公開
・政治倫理の確立

傍聴席

3月の定例会では、上郷小の6年生3クラスの児童約100名が公民の授業の一環で傍聴に訪れました。

□本会議について

◆いろいろな意見が出されていて、真剣に話し合って問題を解決しようと努力してくれてうれしかったです。

◆議会の中は静かで物音ひとつしないような空気でした。

◆難しい話でしたが、議員さんが一生懸命飯田のことを考えているのはわかりました。ぼくのお父さんとお母さんが一生懸命働いて納めているお金なので、ぜひ有効に使ってほしいです。

議員コーナー（議席順に掲載）

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。

～笑顔で幸せに！～　村松 まり子

日本には茶道や華道、着物の作法など、形を重んずる文化が根付いています。「形」に心が宿る、と考えられてきました。

実は「笑い」も同様であることが近年の研究でわかってきたそうです。

たとえ楽しくなくても無理に笑顔をつくることで脳が「あれ？楽しいんですね」と勘違いして、楽しい時の脳の状態、つまり楽しい気分になるのだそうです。

だから何があっても笑顔でいる決心をする。

すると、不思議。本当に毎日がハッピーな気持ちになり、ごきげんな仲間が周りに集まってきて、家庭でも職場でも、すべての事柄がうまく運んでいくとのこと。

笑顔の素敵な人は周りを幸せな気分にさせ、さらに、顔の筋肉を動かすことで、しわやたるみ防止効果も期待できるので、いつも笑顔で過ごしたいですね。

大変な時こそ、さあ笑顔をつくろう！

～うたうこと～　森本 美保子

市内在住ピアニスト“上田トモコ演奏活動50周年～70才の古希コンサート～”(とても古希とは思えませんが…）に、先生命名のコールコンチネッタ（コーラス）として参加する機会に恵まれ、ストレスいっぱいの私の原動力になっています。多忙なメンバー構成なので、スケジュール調整が大変です。それでも続けているのは、先生の魅力もさることながら、うたうことの楽しさであり、何よりも、皆、うたうことが大好き人間であるからかもしれません。しかしながら、60数年も生きていると、好きなことばかりではないのが世の常です。そんな時は、まず、前向きに考える。次に楽しく取りかかること。あとは、心の持ち方次第で、ボランティア精神も生まれてくるというものです。うたうことは、私にとって何よりの薬になりますが、音楽療法ボランティアの時にいつも感じるのです。うたうことによって、無表情な顔がピンク色に染まり、血の流れと共に、心の輝きを増すこと。そして、なごやかな笑いが広がっていく素晴らしさを…。うたうことって、本当にいいものですね。

議会傍聴におこしください

ＣＡＴＶやオフトーク通信で本会議の模様を中継していますが、ぜひ、傍聴にお越しいただき生の討論を実感してください。傍聴席にはかぎりがありますので、団体での傍聴は、事前にご連絡ください。

議会本会議の中継を行っています。
飯田ケーブルテレビデジタル714ch、アナログ5ch及びオフトーク通信「ホットラインIIDA」で中継します。

ご意見をお寄せください

「市議会だより」では、議会の活動状況をわかりやすくお伝えするよう努めてまいります。今後の編集に役立てたいと思いますので、ご意見、ご感想などをお寄せください。

「市議会だより」のバックナンバーを飯田市公式サイトに掲載しています。

URL　http://www.city.iida.lg.jp/

〒395-8501（住所記載不要）
飯田市議会事務局
☎0265-22-4523(直通)　Fax 0265-53-8821
E-mail:igikai@city.iida.nagano.jp

議会の動き（予定）

■第2回臨時会　5月13日（金）
■第2回定例会（会期5月31日～6月24日）

◇一般質問　6月10日（金）13日（月）
◇委員会
　○総務文教委員会　6月15日（水）
　○社会委員会　6月16日（木）
　○産業経済委員会　6月17日（金）
　○建設環境委員会　6月20日（月）
　○庁舎建設特別委員会　5月26日（木）6月22日（水）
　○リニア推進対策特別委員会
　　5月26日（木）6月22日（水）

◆請願・陳情の〆切：5月25日(水)午後5時